

別表 4 評価対象講座等

「申請上限レベル」は、キャリア段位制度における「わかる(知識)」の程度を充足するものとして申請可能なレベルの上限を示します。レベル 2 以上の申請には、他に「できる(実践的スキル)」としての実務経験実績の提示が必要となります。なお、この経験実績には、教育機関が開講する科目に所定の評価対象項目に関する実習・実験等があればその年数(1単位は0.5年分に換算)も含めることができ、講座等の履修単位と重複する場合も評価されます。申請に必要な書類、経験年数等、詳しくはレベル認定申請の手引き(CLG101)をご覧ください。

講座等	申請上限レベル
一般社団法人日本有機資源協会 「バイオマス活用総合講座」	3
一般社団法人日本有機資源協会 「バイオマス活用アドバイザー養成研修」	4
一般社団法人日本有機資源協会 「コンポスト生産管理者養成研修」	3
一般社団法人日本有機資源協会 「コンポスト生産管理者フォローアップ研修」	3
一般社団法人日本有機資源協会 「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」	2
一般社団法人日本有機資源協会 「バイオディーゼル燃料基礎講座」	1
一般社団法人日本有機資源協会 「バイオディーゼル燃料製造管理者及び利用管理者養成研修」	2
日本大学 生物資源科学部生物環境工学科 評価対象講座等認定基準（以下「基準(CP101)」）に適合する認定 43 科目の 何れか合計 8 単位以上※	1
日本大学 生物資源科学部生物環境工学科 基準(CP101)に適合する認定 43 科目の何れか合計 16 単位以上※	2
富山大学 理学部生物圏環境科学科 基準(CP101)に適合する認定 12 科目の何れか合計 8 単位以上※	1
富山大学 理学部生物圏環境科学科 基準(CP101)に適合する認定 12 科目の何れか合計 16 単位以上※	2
山梨大学 工学部土木環境工学科 基準(CP101)に適合する認定 9 科目の何れか合計 8 単位以上※	1
山梨大学 工学部土木環境工学科 基準(CP101)に適合する認定 9 科目の何れか合計 16 単位以上※	2

※ (科目の 1 単位) それぞれの教育機関が定める時間